

### 環境調査結果のお知らせ

令和2年9月29日13時から野見・須崎湾の環境調査を行いましたので、結果をお知らせします。

#### 概況

漁場環境は水温が25.8～26.1℃、塩分が32.9～33.7、溶存酸素量が4.7～7.0mg/Lでした。  
湾内の透明度は3.0～4.0mで、有害種のカレニア・ミキモイがガラクの5m層で1 cell/mL確認されました。

#### 水温と塩分(表1・2)

水温は25.8～26.1℃、塩分は32.9～33.7でした。  
前回調査時(R2.8.20)と比較して、水温は表層から10m層で0.7～4.3℃低下し、底層で0.3℃上昇しました。  
塩分は全層で0.5～2.0上昇しました。

#### 溶存酸素量(表3)

溶存酸素量は4.7～7.0mg/Lでした。  
前回調査時と比較して、溶存酸素量は全層で0.8～1.5mg/L減少しました。

#### プランクトン(表4・5)

湾内の透明度は3.0～4.0mでした。  
検鏡の結果、有害種のカレニア・ミキモイが最高で1 cell/mL確認されました。

海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、よく洗ったペットボトルなどに海水を採取して、中央漁業指導所または水産試験場までご連絡ください。

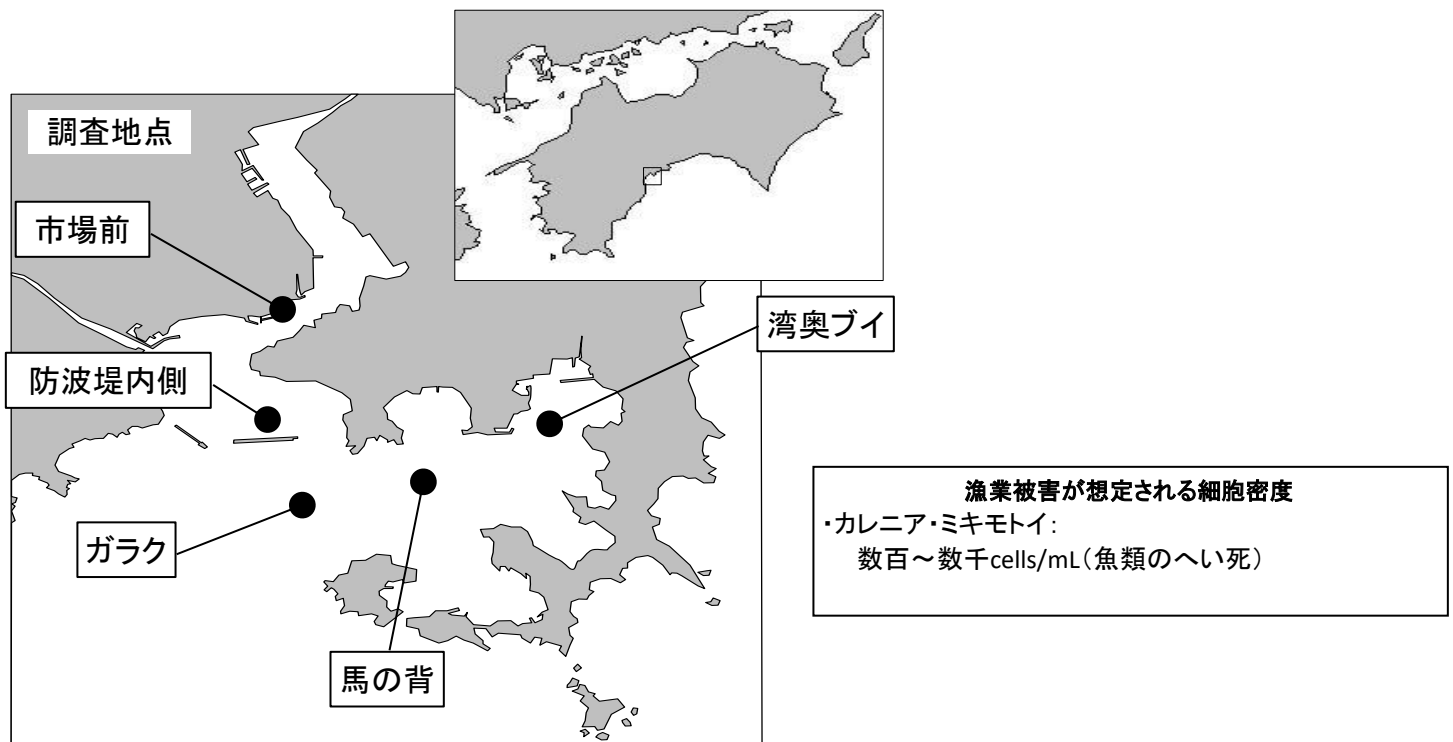


表1 水温(°C)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	漁場平均※	前回調査(R2.8.20)		津波防波堤内側	市場前
					漁場平均※	前回との差 今回-前回		
0m	26.0	26.0	25.8	25.9	30.2	▲ 4.3	24.0	25.9
2m	26.0	26.0	25.8	25.9	29.7	▲ 3.8	26.3	26.5
5m	25.9	26.0	26.0	26.0	28.2	▲ 2.2	26.3	26.3
10m	26.1	25.9	25.9	26.0	26.7	▲ 0.7	26.2	26.2
B-1m	26.0	25.9	26.0	25.9	25.6	0.3	26.2	26.2

表2 塩分

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	漁場平均※	前回調査(R2.8.20)		津波防波堤内側	市場前
					漁場平均※	前回との差 今回-前回		
0m	33.0	33.1	32.9	33.0	31.0	2.0	28.8	30.6
2m	33.0	33.1	32.9	33.0	31.2	1.8	32.8	32.4
5m	33.0	33.1	33.2	33.1	31.8	1.3	33.1	33.0
10m	33.1	33.1	33.2	33.2	32.5	0.7	33.3	33.2
B-1m	33.6	33.7	33.3	33.6	33.1	0.5	33.4	33.4

表3 溶存酸素量(mg/L)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	漁場平均※	前回調査(R2.8.20)		津波防波堤内側	市場前
					漁場平均※	前回との差 今回-前回		
0m	6.8	7.0	6.5	6.7	7.5	▲ 0.8	8.0	7.6
2m	6.8	7.0	6.5	6.8	7.6	▲ 0.8	7.5	7.1
5m	6.7	6.4	5.6	6.2	7.1	▲ 0.9	5.9	6.2
10m	5.7	5.9	5.3	5.6	6.4	▲ 0.8	5.5	6.2
B-1m	4.7	5.3	5.7	5.2	6.7	▲ 1.5	5.6	5.8

※湾奥ブイ・馬の背・ガラクの平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	市場前
水深	17.9	24.1	15.6	15.5	15.0
透明度	4.0	3.0	3.2	3.5	2.3
前回(8/20)	5.0	3.5	4.5	5.0	3.0

表5 プランクトン(cells/mL)

		カレニア・ ミキモトイ	珪藻類
湾奥ブイ	0m	0	4,400
	2m	0	3,350
	5m	0	2,500
馬の背	0m	0	4,400
	2m	0	6,750
	5m	0	5,050
ガラク	0m	0	3,400
	2m	0	3,650
	5m	1	3,100
津波防波堤 内側	0m	0	1,500
	2m	0	1,240
	5m	0	70
市場前	0m	0	3,000
	2m	0	1,420
	5m	0	400